

四谷地区協議会だより

No.

3

第3号

平成22年10月発行



—ぼいす—  
Voice

10



11



12



10

愛住町界隈

11

17

16



15



16

17



内藤とうがらしを使った地域の方の手作り料理



番衆町界隈

レシピについては8ページの下段をご覧ください。



# こんにちは町会長さん！

皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。  
トップバッターは愛住町と番衆町です。

## Q1 名物名所、ご自慢をお教えください！

**愛住町会**  
町内（9番地）に「たん切り子育て」のお地藏様があります。子どもの咳やご老人の喘息など、たんの切れない方が信仰すると効能があると伝えられている霊験あらたかなお地藏様です。

**番衆町会**  
町会のシンボルでもあった「厚生年金会館」が閉館しました。長年、芸術文化の殿堂であったために大変残念でなりません。しかし、当町会には他にも自慢があります。それは、江戸時代より続く「番衆町」という町名です。歴史ある町会名を誇りに思いこれからも大切に守っていきます。

## Q2 とっておきのお話や人気行事は何ですか？

**愛住町会**  
町会レクリエーションのバス旅行企画です。果物狩り、ホテルでの温泉入浴、美味しい食事が人気の秘密です。また車中ではゲーム等を楽しんだり、町会員の親睦を深める大切な行事の一つです。

**番衆町会**  
一番人気はやはり町会のレクリエーション旅行です。親睦を深められる楽しい行事で思い出もたくさんできます。

## Q3 ずばりどんな町ですか？ PRをどうぞ！

**愛住町会**  
春には最高にきれいな樹齢70〜80年になる桜の花が満開となる愛住公園を中心に閑静な住宅地の愛住町は古い歴史を受け継ぐ由緒ある町として環境にも恵まれ住み心地の良い町です！

**番衆町会**  
「山椒は小粒でピリリと辛い」と申しますが、四谷29町会の中では小さいながらも「人の和」を大切に、味わい深い町会です！

## 観光アドバイザー 高橋一夫先生をご紹介します！

四谷地区協議会では、昨年度より東京都観光まちづくりアドバイザー派遣制度等を利用しながら、「四谷の観光ガイド」組織の立上げを準備しています。

アドバイザーは、神戸にある流通科学大学のサービス産業学部高橋一夫教授で様々な観光事業に携わっていらっしゃいます。今号では、ユーモアを交えながら的確にアドバイスをくださる高橋先生を地域の皆様にご紹介します。

\*\*\*\*\*

**地区協議会**…先生は地域活性化事業に数多く携わっていらっしゃいますね。また、レクチャーがはずむと歯切れのよい関西弁になられますが、それが心地よく聞かれます。

私は23年間旅行会社のJTBに勤めていました。純粋な旅行事業はそのうちの8年間で、その後は大阪五輪の誘致やロータリークラブ国際大会の日本誘致・運営管理などのイベント・コンベンション事業、鬼怒川



や唐津の地域再生マネージャーなどの地域活性化事業などをしていました。4年程前に退職をし、今に至っています。生まれは名古屋なのですが、関西での仕事があったこともあり、大阪弁がよく出ます。でも大阪の人に言わせるとイントネーションが全く違うそうで、言葉の上ではデラシネ（根無し草）ですね。

**地区協議会**…先生の心に残る観光体験をお聞かせください。

2006年に長崎で開かれた「さくら博」というまちなかイベントで、ボランティアガイドの方に爆心地周辺の案内をして頂いたことがその一つです。地元自治会の了解のもと、墓地へ案内されるのですが、昭和20年8月9日あるいはその数日後までにお亡くなりになった方のお墓が並んでいる、その数の多さに胸が痛みます。お墓には十字架が乗っかけてこの地区が隠れキリシタンの里であったということも分かります。従来の「見る」だけの通過型観光から、地域の隠れた物語や人に感動する知的体験をさせてもらいました。語り継ぐべき「光」を「観せて」もらったのだと感じました。この時の経験は私の観光に対する考え方を大きく変えました。

**地区協議会**…四谷で観光資源として「興味もたれるものはありますか？」

私の持っている四谷のイメージは、江戸の文化と歴史です。服部半蔵のお墓の

## 教えて地区協！

〜今回は地区協自身で質問！〜

**四谷のオアシス新宿御苑の「大温室」と「内藤新宿分水散歩道」の最新情報**  
新宿御苑の敷地は、天正18年（1590）に豊臣秀吉から関八州を与えられた徳川家康が江戸城に入城した際、譜代の家臣であった内藤清成に授けられた江戸屋敷の一部です。また、現在大木戸門を入った突き当たりにある玉藻池は、安永元年（1772）に玉川上水の余水を利用して完成した内藤家の庭園「玉川園」の一部です。このように江戸時代から現代に至るまで、御苑の歴史は四谷の歴史と重ね合わせていくことができます。



## 声

前号では「玉川上水を徳川の流れの基本計画」をご紹介しながら、計画などについて担当者にご質問させていただきました。その後平成22年5月に「大銀杏区間」が完成し公開され、すでに散策された方も多いのではないのでしょうか？現在は草木の養生のため、防護柵に覆われています。今後とも生態系を荒らさないようマナーを守り貴重なオアシスを見守りたいと思います。

**Q1** 工事期間が長いように感じますが、いつ完成するのでしょうか？

**A** 本工事は平成17年度に基本計画が完成し平成23年度になります。以前の大温室跡には江戸時代の遺跡（武家屋敷跡遺構）、明治時代の温室の遺構などが埋もれていましたので、その調査に時間がかかりました。

**Q2** 延べ面積はどのくらいですか？

**A** 延べ面積は主温室が約2,600㎡。特別室が約1,800㎡です。

**Q3** 立派な温室のようですが、特徴をお教えください。

**A** 主温室は熱帯性植物の鑑賞を目的に作られています。温室内は高低差3、4メートルを生かし回遊できる園路があります。池も配置し、熱帯池沿の植物（オオオニバス、熱帯スイレン等）も展示します。特別室は絶滅危惧植物等を室外からガラス越しに見学できるコーナーです。隔離栽培を行い厳重な箱入り植物（笑）を育てている貴重な様子をご確認いただけます。また温室外ではありますが、明治時代の温室の遺構の一部ご覧いただけるような箇所もあります。

分水散歩道と併せて完成が待ち遠しい新名所になりますね。ますます四谷の散策が楽しくなります。本日はお忙しい中ご回答ありがとうございました！

## 四谷らしい観光の模索

自分自身の輝き  
訪れる人の喜び

四谷の観光ガイド実行組織準備委員会代表 田中健士

近年のまち歩きブームで休日の四谷を歩く人が増えています。四谷は歴史文化遺産の宝庫です。紐解けば様々な物語の舞台となり、訪れる人々を魅了しています。その一方で、四谷に住む私たちはどうでしょうか。身近にあるにもかかわらず、その魅力を説明できるほど知らない名所旧跡が多いのではないのでしょうか。

来年から本格始動する四谷の観光プロジェクトの準備委員会では、我が町四谷の魅力を観光の視点から今一度見直し、地元の人自ら四谷の観光ガイドができるように、観光プログラムの開発とガイド養成の仕組みを考えていきます。これからは、地元のガイドが内外の人に四谷の観光を通してその魅力を伝え、四谷の活性化につながることを期待しています。

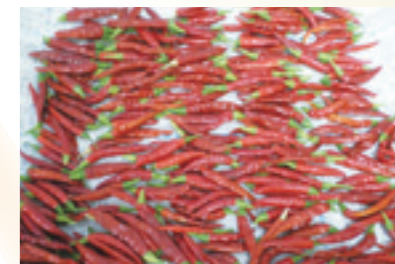


# 内藤とうがらし 四谷育生絵図

※数字は配布した苗の数です



唐辛子売り 紙を張り固め赤く塗った唐辛子入れ



## 「内藤とうがらし」とは

その昔江戸時代の内藤新宿一帯は秋になると内藤藩の栽培するとうがらし（上を向いて実る八房という品種）で赤い絨毯が敷かれた様な光景が見られたそうです。七味とうがらし売りの口上でもその名は全国的に知られています。

## 「内藤とうがらし」の復活を目指す活動について

内藤とうがらしは、残念ながら現在の四谷界隈では栽培されていません。そこで、私たちは歴史ある「内藤とうがらし」の復活を楽しく目指しています。

この絵図は今年度、地域で育てていただいた生育状況の分布図です。地域の皆様ご協力ありがとうございました！

※この活動は、四谷地区協議会「まちづくり活動支援金」の補助により「四谷ひろば」・「スローフード江戸東京」の内藤とうがらしプロジェクトの皆さんと協働推進しています。また、四谷地区の小・中学校とも連携して育てています。

## 「四谷地域で育てる内藤とうがらし」

四谷地区協議会第三分科会

江戸時代の内藤新宿の名物「内藤八つ房とうがらし」を今の四谷に復活させて自慢の名物にしたい！

その思いを3年計画で実現するための活動が今年度より始まりました。春に植えた1000株の内藤八つ房とうがらしがこの秋、四谷のいたるところで赤い実を天に向けて、たわわに実っています。

今年は初めての栽培なので、収穫とともにプロの方に教わるとうがらし味噌やベペロンチーノ・食べるラー油の料理講座などで楽しみ方の普及も企画しました。この秋の収穫のメに江戸時代の薬研堀七味唐辛子の製法で、四谷名物「内藤七色唐辛子」をプロの売り口上付で調合、屋台での実演販売（10月10日午後5時から四谷ひろば講堂横）をいたしました。

都合3年間は内藤八つ房とうがらし普及推進プロジェクトを行う計画です。2年目は参加者が今年収穫した種から苗を作る方法を紹介、普及に努めます。

来春は、今年の種を利用して皆さんで苗作りに挑戦しましょう！

★詳しい内容は第4号の広報誌「声」でお知らせします！



天狗屋の唐辛子売り 唐辛子売りはいろいろあるが、天狗屋の唐辛子は有名



薬唐辛子売り 唐辛子の葉を佃煮にするために売りに来る



**とうがらし売り口上**

先ず最初に入れますのは、武州川越の名産・黒胡麻が入ります、続いて入れますのは、紀州は有田のミカンの皮、これを一名陳皮と申します。続いて入れますのは、江戸は内藤新宿八つ房が焼き唐辛子。続いて入れますのは、東海道静岡は朝倉名産粉山椒、四国高松の名産は唐辛子の粉、大辛中辛を決めて参ります。大和の国のケシの実が入ります。最後に野州日光、麻の実が入りまして七色唐辛子。大辛に中辛、家伝の手法。お好みに応じて調合いたします。はい、どうぞ！

〔宮田章司著 江戸売り声百景 岩波書店より〕

## 四谷ひろばイベント報告

去る6月20日(土)「この夏を惜しんで

おとなも子どもも水で遊ぼう!!」を開催しました

今年も、新規に私立幼稚園・保育園・保健センター・ひろば協働NPO・四谷育成会(中学生のあいさつスタッフ)の協力を得ることができました。また、内容が充実した上に、昨年の2倍の参加者(295名受付、スタッフ60名)で楽しく賑わう一日となりました。

昨年に引き続き大人気の「トン汁」は受付10分で予定100食の引換券の配布を完了してしまい「残念!!」の声を多数いただき、早くも来年度の増量計画を検討し始めております。また、講堂での育成会あいさつ運動イベントは中学生のお姉さんたちによるゲームで盛り上がった後、小沢かづとさんのミニコンサートに大興奮した小さな観客が大勢ステージにあがるハプニングも楽しい思い出となりました。各団体の遊び場コーナーも盛り上がり、終了時刻を迎えても「帰りたくない!!」の声が校庭いっぱい聞こえ



猛暑!! おとなも子どもも水遊び

## 区長と話そう

～しんじゆくトーク～に参加して

去る7月27日(火)四谷地域センターに於いて開催されたしんじゆくトークの様子をお伝えします。

当日は51名の参加があり活発な意見交換の場となりました。冒頭の挨拶で区長は「私たちが時間と競争しながら、私たちの町が本当に安全な町になるように、行政はもとより町を皆で守るため力を合わせる必要だ」と話され、区長の災害に対する熱い思いが感じられました。

続いての四谷特別出張所長による四谷地域の防災概況説明に始まり、参加者からの「豪雨の対策」「首都圏直下型地震に備えての広域避難場所の問題」「耐震建築を含め地域の危険度に対する対応」「災害時に設置される区の対策本部」「高齢者の災害時における心のケア」それを「サポートする地域の人の在り方」等の質疑のほか、テーマ以外の多岐にわたる質問にも区長は明確に答えておられました。「個々にできる危機への備え(自助)」の話も伺い自らの危機意識が向上した2時間となりました。



## 第二回「自治」を考える

住民が主体となるまちづくり

「公共的な問題」という言葉

私たちの暮らしやすい地域の目的や公共的な課題(例えば→こんなことで困っているのだけれど、自分たちで解決できるかなと思つこと等)を地域の人同士や地域の人と行政(区長等・行政委員会)と議会が同じ情報で課題についてそれぞれの役割や責任のもとで、話し合うことが大切です。(情報の共有)

たとえ考えが違つたとしても政策(物事)が決まるまでの過程を互いに理解し認め合い、決まったことはお任せするだけでなく自ら責任を持つてできる範囲で行動する。(自主性・自立性)

自らのことは自ら処理し、お互いに支え合い、助け合う地域社会をつくり(まちづくりをする)、お互いを尊重し、対等な関係に立ちながら協力していく。(協働)

前回にお示したように地方分権の流れの中で、さらには国・地方の関係を通じて、区民の合意と自己責任を基本にして、常によりよい政策判断を行つていく質の高い自治体運営が求められています。「公共の問題」ごとに公共的な対応をどのようにしていけばよいだろうか。それから区民、行政の活動や役割をどのように組み合わせれば、そこから生まれ出てくる相乗効果が大きなものになるのか、未来を共に具体的に描いていけるか、また、そのためのルールをいかに共有できるかである「このことは、これからの自治体の運営にとって大変重要である」と思っています。その道標となるのが、自治の基本ルールとしての自治基本条例であると考えています。

(引用文献:寄本勝美「役割相乗型社会における「三つの市民」と公共政策2004年」)

自治基本条例連絡会議委員(四谷地区協議会推薦) 高野健

地域の活動拠点として定着してきました「四谷ひろば」

今回は「親子サロン」をご紹介します!

一親子サロン担当:田谷 節子一

四谷ひろばの「親子サロン」は、会員登録をしたお子様を対象とした保護者同伴の居場所事業を展開しています。主に親子サロンの部屋を、子育てをする上での悩みや情報の交換をしながら個々に交流を深めてくださることを目的にフリースペースとして開放し、時折イベントをスパイスとして開催!「楽しい子育て」を願い運営しています。

お気軽に公園に遊びにくる感覚でいらしてください!

**【親子サロン概要】**  
★四谷保育園の先生と遊ぼう(月1回) ★英語で絵本(月1回)  
★ビニールプール開放(夏季のみ)  
**【休館日】**原則毎週木曜日 年末年始(お問合せください)  
※四谷保健センターの検診日(H25年上半期までは親子サロンのみ閉室)  
**【利用時間】**10時～16時 B館2階親子サロン(元保健室)  
※園庭は、17時まで(会員外も利用可)  
**【併設施設】**東京おもちゃ美術館・CCAAアートプラザ  
**【お問合せ】**新宿区四谷4-20 四谷ひろば運営協議会  
電話/FAX03-3358-9140  
ホームページ http://yotsuya-hiroba.jp  
メール hiroba@angel.ocn.ne.jp



※「地域ひろば」は地域住民がボランティア運営しています。ご利用にあたり、保護者の責任のもとに、部屋の清掃やゴミの持ち帰りなど、きれいで楽しい遊び場として皆様が気持ちよくお使いいただけるよう、維持管理にご協力下さいますようお願い申し上げます。

四谷ひろば・親子サロン四谷地区協議会協働事業  
「地域安全・防災」プロジェクト

## 乳幼児応急救護講習会

指導 四谷消防署

- ★ もしもの…けが・やけど等の応急処置を学びます。
- ★ AED操作も体験できます。
- ★ 救命技能認定講習会ではありません。(テキストは参考資料として使用します)
- ★ 前回受講された方は復習講座として受講できます!



### 開催日程

**日時** 平成22年11月17日(水)  
10:00～11:30  
**会場** 四谷ひろば B館3階 多目的ルーム  
(4-20旧四谷第四小学校)  
**対象** 四谷地区在住の方または在活動の方  
**先着20名**  
※託児はありませんがボランティアさん3名が、同室で皆様の受講をサポートします。

**参加費用** 700円 当日受付時にお支払いください。  
※東京救急協会発行応急手当テキストお持ちの方は無料です!!

**申込方法** お電話でお申込みください!  
**申込期間** 10月18日(月)～11月8日(月)  
**申込時間** 10:00～17:00  
(土・日・祝日を除く)

**申込先** 電話 3354-6171  
四谷特別出張所内 地区協議会事務局

参加者募集中!

## 第3回 四谷地区協議会 主催 「地域を識る」勉強会

テーマ ～四谷のまちを知り尽くす— 風情(景色)を学ぶ～

去る9月18日に地域で学ぶ「四谷学」を開催しました。今回の「四谷学」では、江戸時代から現在に至り、ほとんど変わらぬ生活道路＝横丁に焦点をあて、横丁の役割、その由来などを探りました。

第1部では新宿歴史博物館 鈴木靖 副館長による四谷の歴史話を伺い、なるほど納得!

第2部では荒木町橋家女将 上田美智代様のインタビュー映像によるご出演で女将さんの気さくな人柄に触れ、ご息より荒木町芸者の心粋や昔の荒木町界隈の風情をおききし、参加いただいた皆様は「貴重なお話だった」と喜んでくださいました。また、新宿歴史博物館ボランティアガイドの浜野又郎、井出建樹両氏による、歴史案内よもやま話は、名ガイドならではの興味深いお話でした。

地区協議会では今後も歴史を通し地域の皆さんと一緒に「四谷」を考え、守り、愛し、未来につなげる意識を共有することを目的にこのような勉強会を開催して参ります。来年をお楽しみに!



新宿歴史博物館 鈴木副館長の四谷歴史話になるほど納得!!

※「四谷学」は四谷中学校でも提唱されています。今回の「四谷学」は、協議会が主催する地域で情報を共有する目的の勉強会です。

## 「年をとっても四谷で楽しく暮らしたい」

「転ばぬ先の…ストレッチ体操」「シニア健康体操」のお話

四谷地区協議会の中には「転倒の危険を感じる前に筋力向上のストレッチを日常生活に取り入れましょう」という目的で活動する四谷健康体操実行委員会という組織があります。

このような地域による地域のための体操教室は新宿区でも画期的な取り組みであると評価されています。しかしながら本当に大切なことは地域の方々の声であると考えます。

- 私が体操できるなんて思わなかった
- 知り合いが増えて楽しい
- 毎日に張り合いができた
- とにかく楽しい!笑顔になれる
- ペットボトルのキャップが開けられようになりました



皆様の声を大切に運営しています。どうぞお気軽にご参加ください

### 四谷地区協議会主催体操教室一覧

会場名	開催日	参加料
四谷ひろば	毎週火曜日	1回200円
花園小学校・四谷中学校	隔週土曜日	無料
新宿地域交流館	第2・第4木曜日	1回200円
霞ヶ丘町会会館	第1・第3木曜日	無料
若葉地区(お試し講座)	第2・第4水曜日	無料(22年度中)

ワンポイントアドバイス!  
～握力は転倒危険のパロメーター～

握力が低下している方はつま先を踏ん張る力が低下していることが多いそうです。転倒の危険信号が握力測定に表れるのはそのためです。各教室では定期的に体力測定(握力・バランス・歩行速度)を行い、参加者皆様の筋力状況を数値でお知らせします。

# 四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話を御紹介～



パーティベビーフィルムに残された  
須賀神社祭礼の記憶

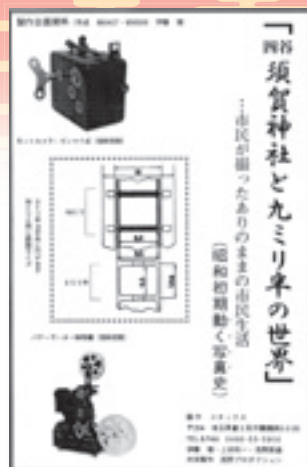
## 第3回 四谷お宝さがし発表会 新宿歴史博物館賞

昨年度の「四谷のお宝さがし」に、現存する須賀神社の祭礼を写した映像では、おそらく最古のものになるのではないかとと思われる貴重なフィルムをご応募いただきました。今回は、富士フィルムフォトサロンに勤務されている上田裕一さんが所蔵していた9.5ミリ映像「四谷乃お祭」(5分、昭和2年頃)にまつわるお話も寄稿いただきましたので、皆さまにご紹介します。

表題のパーティベビーカメラはフランスのパーティ社が1923年に発売して、翌1924年(大正13年)日本に輸入されたものです。職業人以外にも映画が撮れる画期的なカメラでいわゆるホームムービーがここから始まりました。1926年(大正15年)には愛好家の会「ベビーキネマクラブ」が発足。このフィルムは、その会員で当時四谷在住の大澤沼風氏が須賀神社・天王様大祭の様を撮影・編集したものです。

私は1990年代初めに、この作品をカメラや映写機といっしょに譲り受け、何が映っているのか知りたく、1995年にビデオに変換しました。さらに写されていた背景を調べるため友人と須賀神社を訪れ、当時の宮司の尾形さんに映像を見ていただきました。

すると現在の須賀神社で、この映像に写っている昭和初期の姿をとどめているものは、明治37年の銘がある鳥居などほんの一部で、その鳥居も現在とは位置が90度ずれていることなどのお話を聞くことができました。



また、この映像には撮影年月日が記されていませんが、当時は寄席があって「一龍斎貞山」や「三遊亭小…」などのぼりが写っていたり、市電のポールが写っていたり、荒木町のお飯屋、など年代を特定できる数々のヒントを映像が与えてくれました。これらをあわせると昭和2年頃ではないかと推測できます。

応募のきっかけは、2009年6月から12月まで東京ミッドタウンのフジフィルムスクエアで開催された「懐かしのホームムービー展」に昭和初期の映像集を展示場内で放映していたところ、たまたま展示をご覧になった「四谷のお宝さがし」関係者から「四谷地区は空襲で焼けてしまい、戦前の動く映像は大変貴重です」というお話を伺い今回「四谷のお宝さがし」に応募してみたわけです。鑑定の結果、「新宿歴史博物館賞」をいただけることになり、ビデオとフィルム(実物)を映像に写っている「四谷」にお返しをするつもりで新宿歴史博物館に寄贈させていただきました。

このフィルムは大澤氏が字幕を挿入したり、数々の編集テクニックを駆使して当時としてはハイレベルな作品に仕上げられており、戦前の須賀神社での「お祭りの情景」をありありと見せてくれます、このフィルムの価値は、今を生きる我々がそこから何を学ぶかで決まってくることでしょう。新宿歴史博物館ロビーにてご覧になれますのでぜひ昭和初期の市民生活を動く画面でご覧ください。

(上田 裕一氏 寄稿)

※四谷のお宝さがしでは、今後も「お宝の心」を大切にしながら活動を続けて参ります。

四谷特別出張所に地区協議会BOXを設置しています。  
自治に関する意見・コミュニティ生活の中で感じる事柄、まちづくりに関する提案・疑問、表紙を飾る四谷のワンショット写真、協議会活動に関するご質問・ご意見……など  
備え付けの用紙・封筒に必要事項をご記入の上ご投函ください。  
～あなたの声が四谷を…～ 変えます!!  
お気軽にお寄せください。

随時募集!!

編集・発行 四谷地区協議会  
【事務局】(四谷特別出張所内)  
〒160-8581 新宿区内藤町 87 番地  
電話 3354-6171 FAX.3350-9403  
E-mail : <http://www.city.shinjuku.lg.jp>

## 内藤とうがらし お料理レシピ

### れんこんと ピーマンの肉詰め



情報提供 四谷在住 Sさん

ハンバーグを作る材料に内藤とうがらしの種をとり、みじん切りにしたものを混ぜ合わせ、れんこん・ピーマンに詰め、片栗粉をまぶしてフライパンで焼く。ポン酢・マヨネーズ・醤油などお好みの味でお楽しみください。  
※とうがらしの量はお好みで調整ください。



情報ありがとうございました。編集者も早速作ってみました。利用する内藤とうがらしは青・赤それぞれで風味が変わり大変おいしくいただきました。

次号は平成23年3月発行予定です。お楽しみに!